



令和6年7月16日：発行責任者 学校長

夏休みにしかできないことを



7月20日(土)から、44日間の夏休みが始まります。

せっかくの夏休みです。ゲームや動画を見て、だらだらと毎日を過ごしてしまうのは、もったいないです。

遠くに行かなくても、しっかり汗をかいて外で遊んだり、じっくり読書をしたり家にいてもできることはたくさんあります。

また、県内では数少ない花火の打ち上げがある清流祭り(1300発)・雪舟フェスタ(2500発)など地元の催しに参加するのもよい体験になると思います。

ぜひ、夏休みならではの普段できない様々な体験をさせてやってください。

通知表の見方

通知表はすべての教科が3つの観点で評価されています。各教科の一番上から

- ・「知識・技能」(基礎・基本)
- ・「思考・判断・表現」(応用力)
- ・「主体的に学習に取り組む態度」です。

評価規準が分かりにくいのが「主体的に学習に取り組む態度」です。上2つより◎の難易度は上ります。

ざっくりいうと評価規準は3つです。

- ①学習に最後まで前向きに粘り強く取り組めたか。
- ②学習の途中で自分の活動を振り返ったり、友達とも話し合ったりしながらよりよい方法を追求することができたか。
- ③がんばった成果として知識・技能や思考・判断・表現力の獲得につながったか。の3点です。

2学期に向けて◎を目指すとしたら・・・

- ①苦手なこともあきらめない。早くできたら、さらに良いものを目指したり、別のやり方を試したりする。
- ②毎時間の学習や単元のおしまいに自分の学習を振り返り、きちんと文章でまとめる。
- ③テストは今よりもよい得点を目標にする。観察記録やレポート、作品や演技はより質の高いものを目指す。

通知表を見ながらしっかり1学期を振り返り、2学期からの学習に活かしてください。



メディアコントロールをお願いします



岡山県教育庁の調査では、2023年12月時点において小学生(4～6年生)で自分専用のスマホを持っている児童は、58.1%でした。前年より11%の増加です。

夏休みが明けると、朝、起きられないで遅刻する、授業中ぼんやりしたり、たわいもないことでいらいらしたりする。そんな子どもが何人か必ず出てきます。

理由は、メディアコントロールができていないことによる生活の乱れです。

スマホやタブレットでゲームをしてもYouTubeを見てもいいのですが、食事、入浴、学習等やることをやらないでズルズルと時間が過ぎ、睡眠時間が短くなるの

は、困ります。

お子さん自身でメディアコントロールができるようにご家庭でお子さんと一緒にルールを作ってくださいと思います。

理想的な無理のあるルールでなく、最低限の現実的なルールで結構です。

ただ、最低限のルール故に、守れないときのペナルティは必ずお子さんと一緒に決めておいてください。

スマホの契約者も通信料を払っているのも保護者です。

いったんメディアに依存する体質になり、生活リズムが乱れるとなかなか元には戻せません。ルールが守れない場合は、保護者の責任でスマホの管理をよろしくをお願いします。

長期の休みなので、はめを外す日があってもよいと思います。が、2学期のスタート時にはきちんと生活リズムが整うようにしていただければと思います。